



大 銀 杏

喜多方市立慶徳小学校 学校だより
令和元年9月10日(火) 第10号
発行責任者 校長 石田 秀喜

【教育目標】心豊かで、主体性のある児童の育成 ～育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子～

「お年寄り笑う 女子高生」



電車の通路に、疲れてしゃがみ込んでいるお年寄りを見て、「ぼけんでんじゃないの?」「うちのババアなら縁切っちゃう。」という女子高生の言葉。

とかく批判される若者の乗車マナーですが、この場合は特異な例かもしれません。

投書した長島桂子さんが憤っているのは、当の女子高生の「言葉の暴力」だけでなく、それをにやにや笑っている大人です。

人を傷つける言葉をためらいもなく口にする人、困っている人に手を差し伸べようとしない人、そしてそういう人に何も言わない人たち。

人に説教をするのは野暮なこと、小さな親切を偽善を見る、そんな風潮はないか。右に載せた記事を見るたびに、私たち大人の在り方が問われているような気がします。

「子ども笑うな 来た道だ。
年寄り笑うな 行く道だ。」

9月16日(月) 祝・敬老の日



敬老会に参加!! (9/8)

去る9月8日(日)、いいで荘において行われた慶徳町敬老会に、本校児童も参加し、早乙女踊りやダンス、校歌などを披露しました。また、発表後に手作りのプレゼントを、敬老会においでの方皆さん一人一人にお渡ししました。

会場の皆さんから大きな拍手や喜びの声をたくさんいただき、子どもたちもとても嬉しそうでした。ご指導・ご協力いただきました慶徳公民館の皆様、慶徳児童館の先生方、保存会の皆様へ感謝申し上げます。



喜多方一中学区「学校改善委員会」開催 (9/5)

一中学区の小・中4校のPTA正副会長、校長、教頭を構成メンバーに、各校の取組や共通した課題等について情報共有し、行動連携しながら児童生徒の健全育成を図ることを目指した組織です。去る、9月5日に会議を開き、各校で実施した1期学校評価の結果を持ち寄るとともに、課題について話し合いました。

特に今回は、「基本的な生活習慣」の乱れ、とりわけ、SNSやゲーム、動画配信サイトの視聴などのネット利用に伴う生活の乱れが、家庭学習や朝食、睡眠不足、視力低下等に影響していることが共通課題として挙げられました。改めて、平成28年に策定し、取り組んでいる「一中学区『メディア利用5つの約束』」をもとに、児童生徒が自分の問題として受け止め、改善していけるように、学校と家庭が連携して取り組んでいくことを確認しました。

○市 長島桂子 (高校生 17歳)
学校帰りの電車の中でのことである。だいたいこんでいたが、中程に空間ができており、その真ん中に小さなおばあさんがしゃがみ込んでいた。病気などではなさそうだが、よほどお疲れなのだろう、お気の毒にと思っ

て、私と同時に乗ってきた女子高生二人が突然声をたてて笑い出した。
「何、あれ。ボケてんじゃないの。」「うちのババアがあんなことしたら、あたし縁切っちゃう。」
あまりのことに心臓がドカンと殴られたような気がした。おばあさんの背中がまた少し小さくなつた。しばらくして駅に着くとおばあさんはやっと座ることができた。小さな出来事のようにだが、私には忘れられない。

これからはますます必要となる老人への配慮。困っている人を見ても手を差し伸べるどころか、悪口雑言を並べ立てる若者。おばあさんのあの姿はどこかに心を置き忘れたような今の社会への抗議だったのかもしれない。
私の後ろに二人の話